

市民と市議会との意見交換会開催結果（概要）

テーマ 観光振興～火之神保有地の利活用について～

開催日時	令和6年10月28日（月） 午後7時から午後9時まで
開催場所	枕崎市市民会館 第1会議室
参加者数	38名（議員12名は除く）

今回の意見交換会は、昨年に引き続きワークショップ形式で行われ、38名の市民の方々が参加しました。

昨年に引き続きファシリテーターの上村ひさみ氏（鹿児島健康経営アドバイザー協会代表）の進行のもと、12名の議員全員が議員1人と市民3～4名の12グループに分かれ、「観光振興～火之神保有地の利活用について～」への思いを語り合いました。

昨年、発表までできなかった反省を踏まえ、開催時間を30分伸ばした2時間とし、テーブルごとに出た意見を取りまとめて発表まで行いました。

1. 「枕崎の“押し”」ポイント

まず初めに、各テーブルでの自己紹介を行い、「枕崎の“押し”」ポイント（友人、知人が枕崎に来たらここを案内するよ、ここを教えるよというものや場所）を付箋に記入し、テーブルの中央に出しながら1人ずつ話す時間が設けられました。

- ・かつおのにおいが町中に広がり、かつお節の町を感じる。
- ・開聞岳の朝日、夕日と景色がいい。・犬の白浜・立神岩・岩戸からの夕景（ろうそく立神岩）火之神公園（眺めが良い）・自然の生き物が多い・空が青くて広い・海（魚釣り）・枕崎牛・世界の紅茶・魚がおいしい（食堂・レストランなど）・南溟館（企画展等の開催）・木浦橋・岩戸権現・平和記念展望台・伝統芸能（太鼓踊り）・金山の金鉾口跡・恵比寿公園からの景観、鰹節の製造工程・明治蔵・鰹のタタキ、園見岳からの景観・食べ歩き・妙見神社の後ろ側からの景観・枕崎お魚センター・虫どん・南薩エアポート・立神岩・白沢海岸・きばらん海・釣り・腹ガワ・船人めし・瀬戸公園からの開聞岳・桜の時期の瀬戸公園・水尻公園・なぎさ温泉・枕崎港・枕崎外港・鰹巻き網船停泊の勇姿・白沢勾玉浜からの開聞岳の絶景
- ・火之神公園から見える景色またキャンプ場は日本でも有数の場所である。
- ・青魚も新鮮で美味しい

2. 【火之神保有地に〇〇を存在させたい】 【その理由は】 ～個々の意見～

次に、個々の意見をフラットに交換「私の考える利活用案」&その心は？をそれぞれ共有しました。

火之神保有地に〇〇を存在させたい	その理由は
<ul style="list-style-type: none"> ・水族館、農業体験、ダイビング、魚釣りなどができる枕崎の自然を知ってもらうための施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・枕崎のことを知っていただき、リピーターになってもらう ・若い人の働く場を提供したい ・子育て世代の方が枕崎で遊べるように
<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場 ・研修施設 ・土日祝日定期開催の朝市 ・大雨避難場所 	<p>現在の火之神公園から（キャンプ場等）保有地に移動する</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・健康器具の設置 ・芝生 ・コンビニ ・木陰 ・癒しの里（ストレス発散） ・大型のトイレ設置 ・子供が自由に遊べる ・年寄り体力づくり ・認知症予防の語らいの場所 ・老若男女が集える公園 ・グランピング施設 ・枕崎に来たからこそ味わえるアクティビティ施設 ・ステージ ・野外シアター ・池田湖にはコーヒーショップができた（指宿市が出店を依頼したと聞いている） ・火之神保有地の周辺の臭いに対してはどのような対策がとられているのか ・景観を重視するのであれば堤防との兼ね合いで大規模な盛土も必要と考えるが対応できるのか ・大きな箱物は自由が利かない ・極力お金をかけず必要な施設を配置する 	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい眺めだから ・他にないから ・子供が遊べる場が必要だから ・海の見えるロケーションを生かすため ・若者の集う場所にするため ・市外からのお客さんをもてなすため ・南の端の枕崎に来たからこそ体験できるということが枕崎に行く強い動機付けになるから
<p>屋根付き大型ドーム</p>	<p>雨天等心配することなく、スポーツイベント・グラウンドゴルフなど開催できる</p>

※前ページからのつづき

テーマパーク（リゾートホテル）	市外、県外からの観光客による枕崎の活性化！
火之神公園、火之神住宅などを含めて全体を生かし、海岸道路を閉鎖し、中路を1本造り住宅、商店を立神住宅近辺に置き、自動運転バス等で公園周辺を観光する	<ul style="list-style-type: none"> ・箱物は塩害リスクが大きい ・急がないで、検討が必要である
クルーズ船を寄港させる	クルーズ船を寄港させ、海外の観光客の集客を図り、全国に枕崎という地名をピーアールし、新たな観光の起爆剤の場所にしたい
<ul style="list-style-type: none"> ・大型遊具のある公園 ・グラウンドゴルフ場 ・季節ごとの花を楽しめる公園（その公園内にチャレンジショップで若者が起業できるようなカフェ等を作る） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの遊ぶ場がない ・老若男女一緒に集える場所がほしい ・木や花のアーチなど、季節ごとの花を植えて、市内外からの観光客を増やす

3. 【火之神保有地に〇〇を存在させたい】 【その理由は】 ～グループの意見～

グループごとに対話を深めて、意見交換しました。それをテーブルごとにまとめて発表しました。

火之神保有地に〇〇を存在させたい	その理由は
<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場や体験施設（枕崎の食、農業、釣り、ダイビング等を楽しめる） ・フリーマーケットなどができる多目的公園 ・子どもと高齢者が触れあえる場所（大型遊具のある公園・噴水がある公園） ・市内外から訪れた方が楽しめるインスタ映えする花の広場（フラワーガーデン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・老若男女一緒になって楽しめる市民の憩いの場 ・市外から来られた方に楽しんでもらえるように（リピーターになっていただく） ・点ではなく線で結ぶ周遊ルートの構築（例えばJRで来られた方が、火之神公園を目指して来る途中で何か所か立ち寄れるような場所作り）
金を極力かけず、いわゆる箱物は作らず、子供から老人まで集えて、木陰のある緑の広場で皆が楽しめる施設（グランピング施設等）併せて、イベント・観光バスのように大人数が来ても対応できる大型トイレ	最高のロケーションを生かさなない手は無い。また、火之神公園までの草地を一体的に整備できれば、さらに魅力が増す場所であると考えている

※前ページからのつづき

<ul style="list-style-type: none"> ・公園 ・大屋根広場を作りイベントの会場とする ・有料キャンプ場に併設したドッグラン ・木材で作ったアスレチック広場 ・海岸沿いでマリンスポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・癒しを求める人に来てもらう ・構造物を作ると負の遺産になるため作らない ・市内だけでなく市外からも来てもらう ・子供たちは危ないと言われ山や川など自然に親しむ機会が少ない
<p>使用料や場所代が入る所（今ある火之神を含めた）</p>	<p>枕崎の活性化（雇用の確保と人口増加）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・多目的広場（防災備蓄の施設を備えた広場）ステージ、イベントに使える電源等備える事で防災にも役立つのではないか ・多目的レジャーランド ・ダンスイベントで色んな角度からステージが見えるといい ・ドッグラン、アスレチックフィールド ・有料キャンプ場 ・海や開聞岳を見ながら、コーヒーやジュースを飲む所 ・有名シェフ監修レストラン、ホテルを作り富裕層を呼び流動人口を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちを連れてきたいと思える街にすることで、住みたいと思ってもらい子供が増えるのではないか ・流動人口を増やしたい
<ul style="list-style-type: none"> ・温泉施設 ・海釣り公園（あなご取りなども） ・キャンプ場 ・ドッグラン ・チャペル ・電動自転車・電気自動車の充電設備（急速充電がない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から大人まで交流できる場が欲しい ・毎日でも行きたい
<ul style="list-style-type: none"> ・勉強ができる施設 ・カフェ ・食事ができる場所 ・キッチンカーイベント ・釣り堀 ・スケートボード場 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちのことを考えてほしい ・プール施設も面白くない ・多目的に使える場所が欲しい ・ただではダメ ・交流人口のため ・人口が減っているから
<p>公園（フラワーパーク）等</p>	<p>市内外の人たちの和みや癒しの場所になれば...</p>
<p>お洒落なカフェ・グランピング施設</p>	<p>海が見える景観を生かし、1日余暇を楽しめる場所にしたい</p>

※前ページからのつづき

<ul style="list-style-type: none"> カフェ付きの休める空間、遊び場、リラックスできる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供と大人の楽しめる場所が欲しい ・景観を考慮して、美味しいコーヒーを飲む所が欲しい
<ul style="list-style-type: none"> ・星野リゾートを誘致 ・海に向かってイベントを実施（そのための屋根付きイベント施設 ・釣り堀 ・景観を生かした道の駅 ・オートキャンプ場（水道、電源付き） ・枕崎の特産品売り場 	<ul style="list-style-type: none"> ・金のかからない施設が大事 ・施設の目的をシッカリと ・火之神地区だけでなく立神校区全体を背景とする ・今あるものを大事にせよ ・長続きする施設 ・自然を生かす、ロケーションを活かす、立神岩、開聞岳を活かす、自然は金では買えない!!
<ul style="list-style-type: none"> ・海拔5メートルで、災害に対して手立てがない場所なので箱物を作ってもダメだと思う ・人が集まることができる憩いの場 ・スケボー広場 ・薩摩富士を見ながら見過ごせる場所 ・海を眺められる贅沢な公園住宅 ・移動式カツオミュージアム（トレーラーハウス） ・半分か3分の1は駐車場に 	<ul style="list-style-type: none"> ・風光明媚な土地を活用して、まずは市民に知れ渡れば、市、県外からも観光客が訪れるでしょう ・海拔5メートルの災害対策を真剣に取り組む必要がある

4. 自由討論

最後に、各グループで自由な意見を述べていただく雑談タイムが設けられました。

- ・維持管理が必要な施設はいらない
- ・せっかく素晴らしい景観があるのに生かされていない
- ・火之神公園が整備されるまで火之神保有地はそのままがいい
- ・海岸道路の廃止
- ・火之神公園を周遊するバスの運行
- ・芝だけの公園（イベント会場）
- ・養豚場跡地だけではダメ
- ・入場料を取れる施設
- ・火之神公園を含めた大型開発
- ・市はムダ使いばかり・市役所OBは自分のことしか考えていない
- ・Uターンしてがっかり観光するところがない

※前ページからのつづき

- ・オキナワスジボタルという蛍が枕崎で増えてきている。10月ごろが見頃とのことで専門家を呼んで鑑賞会を開催したらどうか
- ・ホテルの宿（火之神公園付近でもホテルが増えてきている）
- ・枕崎の夜空は星がきれいなので、年に1回電気を消して星空鑑賞会を開催する（ノーライトデーを設ける）
- ・JR指宿枕崎線の利用促進のために、指宿～枕崎間の運賃片道分を金券で渡す（枕崎市内で使える商品券の発行）
- ・JRの利用促進のために特別弁当を予約制にして販売する（弁当を目玉にする）
- ・枕崎の地場産品や食材を生かしたイベントの開催（肉であればBBQ祭りなどの開催）
- ・火之神公園に至る道の拡幅・元旦の朝は大渋滞になる・海側に一時停車して写真でも撮れるスペースづくり
- ・お魚センターの従業員の話を聞いて運営の改善に努めてもらいたい
- ・医療関係者から夜間の交通手段がないと聞いている（他市に付き添いで救急車に乗って行った場合の帰りの交通手段がなく困っている）
- ・タクシーチケットの限度額を上げてほしい
- ・将来を考えると交通の面が不安なので鹿児島市内に引っ越した方が良いのではと考える
- ・若者の20～30年後を見据えて、バーベキューをしながら意見交換会を計画しており沢山の人の参加してほしい
- ・お魚センターから見える壁画を描き直してはどうか
- ・予算の使い方を考え直してほしい
- ・教育が遅れている、時代にマッチングしていない
- ・給食費を無料にするべき・子どもは社会で育てる事が必要
- ・青年活動時代、イベントをするときに、公共施設はいろいろな弊害があった。
- ・キャンプ場やゴミ捨て場を有料にすることで、マナーよくキャンプ場を使用していただけるとはいえないか
- ・遊ぶ場がない・子供（障害のある）が働ける場所を（A型がない）
- ・元気老人を活かす・市民をその気にさせる情熱がない
- ・箱物は海岸が近く災害に対するリスクがあります。今後の人口減少で管理費の調達が難しい
- ・火之神保有地は今後どのように活用し、市として真剣に考えて観光地をどのように守っていくのか考えて欲しい
- ・企業を誘致するなら、養豚場、陸上養殖場で、今後の社会情勢を考えての価値ある食糧確保を
- ・終着駅にコインロッカーがない（観光案内所にはあり）

5. 議員の意見・総括

今回のワークショップ形式での意見交換を実施したことで出された、議員の率直な意見をまとめました。

- ・今回の意見交換会は、講師の上村先生のご指導によりワークショップ方式を事前にご丁寧な説明をしていただき、本当によかった。参加者も席を移動することなく、思いの丈を語り合うことができたのかと思います。これから参加された皆さんがそれぞれに枕崎は、素晴らしい街だと自慢できるようなまちづくりに目を向けて自らが声を上げて行動していただけることを願っています。私も皆さんの声をしっかりと聞き止め頑張っていきます
- ・今回の意見交換会は前回と比較すると、議員も2回目ということで流れもスムーズに行ったが、やはり隣との席の間隔が近いため、自席の人の発言が聞きづらかった。みんなで枕崎の未来を創るという意味で大変有意義な意見交換会になった
- ・去年の反省点を踏まえ、開催時間を昨年より30分伸ばした2時間とし、テーブルごとに出た意見を取りまとめ発表できるよう工夫し、また、予め会の最後にテーマから離れる話題の聴取時間を確保していることを周知することで、意見交換会時に本来のテーマから外れることを防ぐ配慮をして開催された
- ・長テーブル1台につき担当する1人の議員が3人前後の市民の方々の意見を聴取する事は昨年と同様であるが、今回は各議員がテーブルごとの意見を取りまとめる、小さなファシリテーターとしての役割も担うこととなり、昨年にも増して議員の役割が重要になってきていると感じながらの対応となった
- ・2回目のワークショップ形式での意見交換会であり、前回に引き続いて参加という方も3割程度いらっしゃったようであり、全体的にもワークショップ形式が受け入れられているという雰囲気を感じられた
- ・今回は意見取りまとめ・発表まで議員が行うということであったため、前回よりも傾聴に重きを置き、聞き取ったことを摺り合わせしながら意見をまとめる作業が必要であったため慌ただしく時間が過ぎたようにも感じられた
- ・前回の意見交換会には無かった、各テーブルのまとめ発表を聞く時間を設けたことで、会に参加された方の考えには共感する部分が多いことがわかった。会を終えるときには、多くの方が一定の方向性を示すことができたと感じながら帰路につくことができたのではないかと思う
- ・まとめ発表については今回一番の成果であったと考えており、次回も引き続き取り入れるべきであると考えている

※ 意見交換会当日の様子

